



# 融資保証金詐欺連続発生 建設業者が狙われる

## 事案の概要

- 事例1 県内で建設業を営む70歳代男性が資金繰りに困っていたところ、会社のFAXに低金利で融資を行う広告が届いたことから、渡りに船と思い広告の会社に600万円の融資を申し込んだところ、11月28日から11月30日にかけて、保証会社への供託金が必要と騙され7回にわたり約332万円を振り込んでしまった。
- 事例2 県内で建設業を営む30歳代の男性が事例1同様の状況で1500万円の融資を申し込んだところ11月30日から12月2日にかけて、契約事務手数料や供託金が必要と騙され3回にわたり約253万円を振り込んでしまった。

## 注意点

- 1 会社事務所に「低金利での融資」を謳ったFAXが送りつけられる。
- 2 融資を申し込むと「融資のための事務手数料が必要」等と言って現金の振り込みを要求される。
- 3 一度現金を振り込むと「保証金が必要」「供託金が必要」等と言って、次から次へと現金の振り込みを要求される。
- 4 振込先が複数の個人名口座である。